

- 管内 オホーツク管内
- 分類 防犯教室 安全マップ 不審者対応訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 不審者情報を教育局から学校へスピード感を持って周知し、対応を促していること。
- 学校は、不審者情報を受け、生徒へ周知するだけでなく、その情報をもとに防犯教室の改善・充実に生かしていること。

取組の実践

ねらい

- 不審者対応について、外部講師（警察）による講話と演習により、防犯意識を高め、実際の場面において適切に対応できるようにする。

内容

1 防犯教室の内容の検討

- 例年実施している防犯教室の内容について、ここ数年の不審者情報からその傾向を探り、それをテーマとして実施する。

これまでのテーマ例



- ・校内への不審者対応
- ・直接被害を受けるような時のための護身術
- ・地域の安全マップの確認

2 防犯教室の具体

(1) 外部講師（警察）からの講話

- 通学区内等で発生している事件・事故についての状況について理解し、防犯に関する意識の高揚を図る。
- 携帯電話・スマートフォンによるSNS等の正しい使い方を理解し、被害に巻き込まれないための行動を身に付ける。

(2) 護身術訓練

- ここ数年、不審者情報においては、高校生を中心に不審者による被害を受ける事例が多くなっていることから、直接被害を受けるような時のための護身術を身に付ける。（警察による護身術指導及び演習の実施）



【警察による護身術指導】



【護身術演習の様子】



3 振り返りの実施

- ホームルームで防犯教室のポイントについて、ワークシートを用いた振り返りを行い、生徒への定着を図るようにする。

成果と課題

- 防犯教室終了後、生徒が不審者に遭遇した際に護身術を活用し、被害を回避できた事例があった。実践的な演習を行うことで、生徒の防犯意識が高まった。
- 生徒が課題意識をもち、主体的に学ぶ姿勢をさらに促す必要がある。